

一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会

# 名古屋支部ニュース

2026新春 第50号

支部長年頭あいさつ

## 変化の時代を支える特殊鋼流通として

### 新年あけましておめでとうございます

平素は全日本特殊鋼流通協会名古屋支部の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

特殊鋼業界は昨年も厳しい事業環境が続きました。その中であって、会員各社の皆様が日々たゆまぬ努力と創意工夫を重ねられ、業界の発展に多大なるご尽力を賜りましたことに対し、心より敬意を表する次第でございます。当支部、また特殊鋼倶楽部名古屋支部や名古屋ステンレス流通協会が主催する各種研修や交流事業におきましても、多くの皆様にご参加をいただき、活発な情報交換と人的交流が図られましたことは、支部長として大変心強く感じております。

### ◆2025年の経済環境と特殊鋼業界の動向

さて、2025年の経済環境を振り返りますと、国内景気は緩やかな回復基調を維持した一方で、物価高や人手不足、エネルギーコストの高止まりなど、先行きへの不透明感は依然として残る一年となりました。私たち特殊鋼業界と密接に関わる自動車業界におきましては、認証不正問題に伴う是正対応や生産調整の影響を受けつつも、生産ペースは底堅い水準を維持しました。また電動化が進展する中でも、ハイブリッド車を中心とした内燃機関車の堅調な



名古屋支部長  
樋田 浩三

生産は、特殊鋼業界にとって明るい材料の一つであります。

海外に目を向けますと、中国経済の減速や市場環境の変化を背景に、エンドユーザーを取り巻く環境にはなお不安定さが残る中、特殊鋼流通もその変化への対応が求められています。その一方で、ASEANやインドをはじめとした新興国市場の成長や、脱炭素化・インフラ更新需要など、中長期的な成長分野は着実に広がっており、私たち特殊鋼流通に求められる役割は一層重要性を増しております。

### ◆人材育成を軸とした名古屋支部の取り組み

このような環境のもと、名古屋支部では、特殊鋼販売技士研修をはじめとする教育事業を継続的に実施し、会員各社の人材育成と企業基盤強化に貢献する取り組みを行ってまいりました。人材不足が深刻化する今こそ、人への投資が将来の競争力を左右するとの認識を強く持ち、2026年におきましても、より実務に即した有益な事業運営に努めてまいります。

### ◆2026年に向けた展望と特殊鋼流通の使命

2026年も先行き不透明感がぬぐえない中でスタートしますが、メーカーやユーザーの変化への対応、そしてカーボンニュートラル実現に向けた取り組みの成果が問われる年となるでしょう。物流問題や人材不足、コスト上昇といった課題は引き続き私たちの前に立ちはだかりますが、変化は同時に新たな成長の機会でもあります。業界が一丸となり、知恵と経験を持ち寄り、難局を乗り越えていきたいと存じます。

全特協名古屋支部は、本年も会員各社の皆様の事業活動に少しでもお役に立てるよう、研修、情報提供、交流の機会を一層充実させてまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、2026年が会員会社の皆様ならびに社員の皆様お一人お一人にとって、実り多く、希望に満ちた一年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

発行責任者：総務部会 / 広報部会

部会長：佐橋 健一郎 部会員：松岳 大樹、佐久間 崇透、杉本 大輔 / 山村 弥、熊谷 妃呂子

支部ニュースは、全特協名古屋支部ホームページにも掲載いたします。

26年度研修予定等も追って掲載いたしますので是非ご覧ください ⇒ <http://www.zentokkyo-ngy.jp/>